

講 義 要 項

授業科目	日常生活援助技術Ⅲ			担当者	吉満 梨奈 向吉 喜美代
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前／後
	1 単位	30 時間	講義・DVD・シミュレーション演習		1年次・前期・後期
授 業 目 標					
対象の栄養状態や食欲、摂食・嚥下機能について理解し、食事援助技術を習得できる。また、排泄のメカニズムを理解し、安全・安楽・羞恥心に配慮した排泄援助技術を習得できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 食事援助技術	1. 対象の栄養状態や摂食能力をアセスメントする知識を習得できる。 2. 食事摂取や非経口的栄養摂取の援助技術を習得できる。	1. 栄養状態および摂食能力、食欲や食に対する認識のアセスメント 2. 嚥下・摂食能力のアセスメント 3. 摂食・嚥下訓練 4. 医療施設で提供される食事の種類と形態 4. 食事摂取の援助技術 5. 非経口的栄養摂取 1) 経管栄養法 ・経管栄養チューブの挿入 ・経管栄養による流動食の注入 2) 中心静脈栄養法	14		講義 DVD シミュレーション演習
2. 排泄援助技術	1. 排泄について説明し、排泄の援助技術を習得できる。	1. 自然排尿および自然排便の介助 1) 自然排尿および自然排便の基礎知識 ・排泄の意義 ・排泄器官の機能と排泄のメカニズム ・アセスメント 患者の状態に応じた援助 2) 自然排尿および自然排便の介助実際 ・トイレにおける排泄介助 ・床上排泄援助 ・おむつによる排泄援助 2. 導尿 1) 一時的導尿 2) 持続的導尿 (導尿または膀胱留置カテーテルの管理、挿入) 3. 排便を促す援助 1) 排便を促す援助の基礎知識 2) 浣腸（グリセリン浣腸） 3) 摘便	15		講義 DVD シミュレーション演習
		修得試験	1	1	
参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学(3), 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院. 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院. 3. 看護技術プラティクス, 学研メディカル秀潤社				
評 価	1. 単位修得試験、授業・演習態度 2. 配点：食事援助技術50点、排泄援助技術50点				
備 考	実務経験：看護師・助産師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				